



浪江町長
吉田 数 博

令和2年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

早いもので、震災と原発事故発災から9回目の年明けです。

今年は、全国各地で豪雨災害をはじめとした自然災害が多く発生し、避難先において被災された方もおられます。

まだまだ、不自由な避難生活を強いられている皆さまに、心からお見舞い申し上げます。

復興創生期間後の国の体制

先日、政府から復興創生期間後の基本方針が示され、復興庁の後継組織や財政の枠組みの継続が正式に決定されました。その内容は、我々がこれまで強く訴えてきたことの大部分が盛り込まれたと思います。

引き続き、国や県、関係機関と連携し、町の復興に全力で取り組んでまいりますので、皆さまのご支援とご協力をお願い申し上げます。

昨年を振り返って

さて、震災から間もなく10年。「町のこし」は、いよいよ

集大成の時期を迎え、昨年は、これまで蒔いてきた復興の種が芽を出した一年でした。

7月には、待望の「イオン浪江店」のオープンによって、町内で生鮮食料品の買物ができるようになり、10月には、水産業共同利用施設（荷捌き場、せり場など）が完成。「請戸もの」の復活も近いと期待を寄せています。

このほか、雇用の場の確保に向け産業団地の造成が進み、3社目となる誘致企業との連携協定が締結されました。5月には交流・情報発信拠点となる「道の駅（仮）」、11月には木材製品生産拠点施設が順次着工、その他にも複数の企業の工場建設も始まり、町内では、水素製造プラントなどを含め、来年度の完成に向けた大きなプロジェクトが多数進行しています。

また、町内2か所で準備を進めている乾燥調製貯蔵施設（カントリーエレベーター）をはじめとした営農再開支援事業や、泉田川ふ化施設の復興、請戸漁港施設の更なる充実のほか、請戸住宅団地の整備や、町内道路の拡張・整備など、

生活環境の向上や雇用の場の確保などの重点施策についても、着実に進捗しております。

全町の避難指示解除に向け

一方、帰還困難区域では、末森、室原、津島の3か所の特定復興再生拠点の除染が始まりました。しかし、特定復興再生拠点以外の除染時期などに関しては、いまだ国からの明確な方針が示されておりません。引き続き、全域の避難指示解除に向け具体的な時間軸を含めた方向性を示すよう、国に対して強く要望してまいります。

持続可能な町づくり

浪江町は現在、急速な人口減少と少子高齢化を迎え、非常に厳しい財政状況にあります。しかし、町の生活環境の整備や有害鳥獣対策、営農などの生業再開に向けた支援、そして、避難中の方々の生活を支援する「高速道路無料化」や「医療費」などの免除措置の延長は、無くてはならない重要な施策だと考えています。しっかりと、国や県に対し財政支援を求めていくとともに、

将来に向けて「持続可能な町づくり」に全力で取り組んでまいります。

「ふるさと浪江」への想い

このように「ふるさと浪江」の復興再生には、いまだ多くの課題が山積しており、解決には時間を要します。しかし、これからは私は「ふるさと浪江」を取り戻すために、全身全霊を尽くしてまいる所存であります。

どうか皆さんも町に帰ることを諦めないでください。いつか浪江に戻れるようになったときに、帰って来てくださいます。



新年のご挨拶



浪江町議会議長
佐々木 恵 寿

新年明けましておめでとうございます。町議会を代表しまして、謹んでご挨拶を申し上げます。

希望に満ちた輝かしい新春を皆さまご健勝にてお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。また、日頃から皆さまの町議会への深いご理解と、議会活動に対する温かいご支援・ご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。微力ではございますが、皆さまのご協力を賜りながら、浪江町の復興に全力で取り組んでまいる所存であります。

昨年は年号が「平成」から「令和」に変わり、消費税率が10%になるなど、社会情勢が目まぐるしく変化した一年でした。また、自然災害も多く発生し、特に台風19号による豪雨災害では、福島県をはじめ全国的に甚大な被害をもたらしました。浪江町内でも、多くの家屋で床上・床下浸水の被害が発生しました。避難先で被災された町民も数多くおられると伺っております。被災された皆さまに心からお見舞い申し上げます。

さて、東日本大震災と東京

電力福島第一原子力発電所事故から10年目を迎えるようにしています。議会としては町民の皆さまがどのようなことを感じ、何を求めているのかを直接お伺いし、町はもちろん国や県などにも町民の皆さまの声を届け、平成23年6月から議会報告会や意見交換会を開催しております。昨年は県内5か所、県外1か所で議会報告会を開催しましたが、できるだけ多くの方からご意見などをお伺いするため、常任委員会単位でも、関係する各種団体と議会報告会を実施いたしました。各会場で行った貴重な貴重なご意見、ご提言をしっかりと受け止め、今後の議会活動に生かしてまいりたいと考えております。

政策を実施する行政機関とは異なり、政策の審議、議決、監視を担当する議会の仕事は、もともと町民の皆さまに見えにくく、身近ではないという面もあるかと思えます。議会の仕事ぶりや、議会のおかげで何が良くなったか、議会の意思決定はどのようなされるのか、といったようなことについて、町民の皆さまから見えにくいというご意見があることも承知しております。

近年開催された議会報告会などにおいては、議会への関心の低さから参加者数が少なく、いただいたご意見などからも、我々に対する住民の評価が必ずしも高くはないのが現状かと感じております。議会への信頼回復や議会活動に対する疑心暗鬼を払拭しなければならぬ面が多々あると思っております。そのためにも議会改革はもちろん、議員一人一人の意識改革が必要であり、町民に開かれた議会にしていかなければならないと考えておりますので、今後とも町民の皆さまのご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます。

最後に、今年一年が皆さまにとって良い年になりますよう、心からご祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。



浪江町議会議員
(議席番号順)

| | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------|------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|------|
| 大浦 泰夫 | 石井 悠子 | 高野 武 | 半谷 正夫 | 紺野 則夫 | 佐々木 勇治 | 平本 佳司 | 山崎 博文 | 渡邊 泰彦 | 松田 孝司 | 山本 幸一郎 | 泉田 重章 | 紺野 榮重 | 佐藤 文子 | 馬場 績 |
|-------|-------|------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|------|